

学年	高校 2 年	教科	情報科	科目	情報 I	単位数	2
教科書名		最新情報 I （実教出版）			副教材名	なし	
コース・クラス		N進理系					

I 目標

メディアについての理解とそれを適切に判断する力を育成する。また、コミュニケーション能力を育成する。

II 授業のねらい

- ・情報のマナー、情報モラルを知る。
- ・プログラミングの仕組みを知り、フローチャートを理解する。
- ・身の回りのICTを理解し、情報活用能力を育てる。
- ・問題解決能力を身に付け、論理的な発表表現を身に付ける。
- ・情報社会に生きる上での、知らなければいけない法律や制度を知り、コミュニティなどへの参加方法などを知る。

III 授業の進め方

- ・実習を中心に行い、体験的に授業内容を理解していく。
- ・座学では、プリント学習を中心に行う。

IV 学習上の留意点

- ・1つ1つの課題に熱心に取り組む。
- ・その時間に教わったことから、自ら考え行動できるようにする。

V 定期試験

- ・1学期期末試験： インターネットの仕組み、著作権等
- ・2学期期末試験： 情報のデジタル表現、ハードウェア・ソフトウェアの利用等
- ・3学期学年末試験： SNS利用時に想定される脅威と対策、1年間学んだことの復習

VI 評価の方法

- ・実習課題の評価
 - ・実技試験の成績
 - ・定期試験の成績
 - ・授業態度など
- を、総合的に評価。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	導入・タイピング練習	HTML の実技試験	・ タイピングの入力速度、正確性を向上する。 ・ HTML の仕組みを理解し、プログラミングの基礎を身に付ける。 ・ 情報モラルを知る。 ・ サイバー犯罪の怖さを知る。 ・ インターネットでの検索を勉強し、情報の正確な扱い方を知る。
	5	HTML ① 仕組みの理解、文章の表示	期末試験：座学の確認試験	
		HTML ② 画像の挿入、リンクの作成		
	6	HTML ③ 表の作成		
	7	座学 ① 情報モラル・サイバー犯罪		
座学 ② インターネット				
二学期	9	プログラミング 「Python」	Python を利用した課題	・ プログラムの原理を学ぶ。 ・ フローチャートからプログラムの作成を行えるようになる。 ・ 目的に応じたアルゴリズムを考えられるようになる。 ・ 動画の仕組みを知り、動画編集を行えるようになる。 ・ パソコンの仕組みや現代社会におけるデジタル化について知る。 ・ 情報化社会の怖さを知る。
	10	①プログラムの仕組みを知る	Python の実技試験	
	11	②フローチャートの仕組みを知る	動画作成の評価	
	12	③目的に応じたアルゴリズムを考える	期末試験：座学の確認試験	
	12	動画作成：パワーディレクター 『プロモーションムービーの作成』		
三学期	1	座学 ① ハードウェアの利用	デザインプレゼンテーションの評価	・ 身近な問題を多角的視野でとられ、問題点の本質を理解する。 ・ 必要な情報を整理し、他者に伝えられるようにする。 ・ SNS利用の脅威について改めて理解する。
	2	座学 ② デジタル表現	タイピング試験	
	3	座学 ③ 情報のデジタル化・情報表現と伝達	学年末試験：1 年間の学んだことの確認試験	
	3	座学 ④ 発展的な内容		
	3	問題解決とコンピュータの活用 『デザインプレゼンテーション』		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。